

# 報告事項 1. 2014年度事業報告

## I 会員の異動状況

(2015年3月31日現在)

1. 会員の異動	前年度末	入会・就任	退会 (会費滞納による退会を含む)	物故者	現在数
(1) 正会員	25,884 名	751 名	628 名	52 名	25,955 名
(1の内) 名誉会員	39 名	0 名	0 名	0 名	39 名
(1の内) 特別会員	47 名	2 名	0 名	4 名	45 名
(1の内) 国際名誉会員	29 名	3 名	0 名	0 名	32 名
(2) 準会員	—	285 名	5 名	0 名	280 名
(3) 賛助会員(法人)	67 名	1 名	2 名	—	66 名

※正会員から準会員(準会員から正会員)に区分変更した人数は、入会・退会者数に含まれる

2. 役員・職員の異動	前年度末	就任	退任	物故者	現在数
(1) 理事	30 名	30 名	30 名	0 名	30 名
(2) 監事	2 名	2 名	2 名	0 名	2 名
(3) 幹事	21 名	20 名	21 名	0 名	20 名
(4) 社員	280 名	19 名	19 名	0 名	280 名
(5) 事務局職員	17 名	4 名	2 名	0 名	19 名

### 3. 国際名誉会員

Jong-Hoa Bae (Korea)	A. John Camm (UK)	Jay N. Cohn (USA)
Anthony N. DeMaria (USA)	Kim Fox (UK)	Valentin Fuster (USA)
Tsui-Lieh Hsu (Taiwan)	David T Kelly (Australia)	Sam-Soo Kim (Korea)
Spencer B. King, III (USA)	Peter Libby (USA)	Thomas F. Luscher (Switzerland)
William John McKenna (UK)	Steven E. Nissen (USA)	Ock-Kyu Park (Korea)
John Ross Jr (USA)	Patrick W. Serruys (Netherlands)	Shahryar A Sheikh (Pakistan)
Sidney C. Smith, Jr (USA)	Karl Swedberg (Sweden)	A.Jamil Tajik (USA)
James T Willerson III (USA)	Anversa Piero (USA)	Braunwald Eugene (USA)
Waagstein Finn (Sweden)	Seung-Jung Park (Korea)	Victor J. Dzau (USA)
Pravin M. Shah (USA)	Salim Yusuf (USA)	Stephen F. Vatner (USA)
Michel Komajda (France)	Murray Esler (Australia)	

### 4. 物故会員(敬称略)

(1) 名誉会員	(該当無し)					
(2) 特別会員	田中 健蔵	仁村 泰治	渡辺 務	渡部 良夫		
(3) 一般会員	東 純一	雨宮 武彦	伊東 浩路	伊奈 博	稲葉 光	
	井上 富夫	猪股 文岳	宇佐美勝正	宇野 雅史	荻生 徳寛	
	尾崎 正信	河上 好秀	河邊 明彦	岸本 千晴	城戸 忞爾	
	木下 眞二	小池 真弓	小林 芳夫	迫 良治	佐々木 喬	
	鈴木 修	鈴木 茂	鈴木 典夫	平 敦子	高橋 長海	
	竹内馬左也	谷垣 守良	谷口 堯	積木 誠和	戸澤 匠	
	中橋 泰之	花房 節哉	広瀬 英軌	牧 正裕	村上 勝人	
	森 豊樹	森反 俊幸	森本 雅巳	山岡 貢二	由利 卓也	
	横田 旻	芳田 久	吉田 正男	渡邊 高祥		

## II 会議の事項

(1) 第78回社員総会	: 2014年4月18日	東京都	・ J Pタワー ホール&カンファレンス
(2) 理事会	: 2014年6月20日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2014年10月24日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2015年1月23日	東京都	・ 東京国際フォーラム

(3) 総務委員会	2015年3月27日	東京都	・東京国際フォーラム
	2014年6月20日	東京都	・東京国際フォーラム
	2014年10月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
	2015年1月23日	東京都	・東京国際フォーラム
	2015年3月27日	東京都	・東京国際フォーラム
(4) 財務委員会・監査会	2014年6月13日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2014年10月17日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2014年1月16日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(5) 予算委員会	2014年12月13日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(6) 編集委員会	2014年6月20日	東京都	・東京国際フォーラム
	2014年10月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
	2015年1月23日	東京都	・東京国際フォーラム
	2015年3月27日	東京都	・東京国際フォーラム
	2014年6月20日	東京都	・東京国際フォーラム
(7) 学術委員会	2014年6月20日	東京都	・東京国際フォーラム ※ガイドライン委員会と合同開催
	2014年10月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
	2015年3月27日	東京都	・東京国際フォーラム
	2014年6月19日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2014年9月27日	宮城県	・仙台市民会館
(8) ガイドライン委員会	2015年1月22日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2014年6月20日	東京都	・東京国際フォーラム ※学術委員会と合同開催
	2014年12月15日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2015年3月27日	東京都	・東京国際フォーラム
	2014年10月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
(9) IT/Database委員会	2015年1月23日	東京都	・東京国際フォーラム
	2015年3月27日	東京都	・東京国際フォーラム
	2014年8月11日	大阪府	・国立循環器病研究センター
	2015年3月1日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2014年6月20日	東京都	・東京国際フォーラム
(10) 専門医制度委員会	2014年10月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
	2015年1月23日	東京都	・東京国際フォーラム
	2015年3月27日	東京都	・東京国際フォーラム
	2014年6月20日	東京都	・東京国際フォーラム
	2014年4月26日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2014年4月27日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2014年6月20日	東京都	・東京国際フォーラム
	2015年1月10日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2014年9月27日	宮城県	・ウエスティンホテル
	2014年5月22日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2014年8月2日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2014年10月13日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2014年12月20日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2014年6月20日	東京都	・東京国際フォーラム
	(11) 教育研修委員会	2014年10月24日	東京都
2015年1月23日		東京都	・東京国際フォーラム
2015年3月27日		東京都	・東京国際フォーラム
2014年6月20日		東京都	・東京国際フォーラム
2014年10月24日		東京都	・ステーションコンファレンス東京
(12) 学術集会運営委員会	2015年1月23日	東京都	・東京国際フォーラム
	2015年3月27日	東京都	・東京国際フォーラム
	2014年10月12日	大阪府	・大阪国際会議場
(13) 学術集会プログラム委員会	2014年12月13日	東京都	・J Pタワー ホール&カンファレンス
	2014年6月20日	東京都	・東京国際フォーラム
(14) 国際交流委員会	2014年10月24日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
	2015年1月23日	東京都	・東京国際フォーラム
	2015年3月27日	東京都	・東京国際フォーラム

(15)	心臓移植委員会	:	2014年6月20日 2014年10月24日 2015年1月23日 2015年3月27日	東京都 東京都 東京都 東京都	・東京国際フォーラム ・ステーションコンファレンス東京 ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
	・適応検討小委員会	:	2014年6月6日 2014年6月9日 2014年6月16日 2014年6月20日	東京都 東京都 東京都 東京都	・(一社)日本循環器学会事務局 ・(一社)日本循環器学会事務局 ・(一社)日本循環器学会事務局 ・東京国際フォーラム
	・実施施設小委員会	:	2014年9月27日	宮城県	・仙台市民会館
(16)	健保対策委員会	:	2014年6月20日 2014年10月24日 2015年1月23日 2015年3月27日	東京都 東京都 東京都 東京都	・東京国際フォーラム ・ステーションコンファレンス東京 ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
(17)	医療倫理委員会	:	2014年6月20日 2014年10月24日 2015年1月23日	東京都 東京都 東京都	・東京国際フォーラム ・ステーションコンファレンス東京 ・東京国際フォーラム
(18)	医療倫理・医道合同委員会	:	2014年6月20日 2014年10月24日 2015年1月23日	東京都 東京都 東京都	・東京国際フォーラム ・ステーションコンファレンス東京 ・東京国際フォーラム
(19)	医道委員会 :	:	(開催無し)		
(20)	利益相反委員会	:	2015年1月23日	東京都	・東京国際フォーラム
(21)	情報広報委員会	:	2014年6月20日 2014年10月24日 2015年1月23日 2015年3月27日	東京都 東京都 東京都 東京都	・東京国際フォーラム ・ステーションコンファレンス東京 ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
(22)	チーム医療委員会	:	2014年6月20日 2015年1月23日	東京都 東京都	・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
	・プログラム部会	:	2014年5月30日 2014年12月11日	東京都 東京都	・(一社)日本循環器学会事務局 ・TKPスター貸会議室 新橋
(23)	男女共同参画委員会	:	2014年6月20日 2014年10月24日 2015年1月23日	東京都 東京都 東京都	・東京国際フォーラム ・ステーションコンファレンス東京 ・東京国際フォーラム
(24)	循環器救急医療委員会	:	2014年6月20日 2014年10月24日 2015年1月23日 2015年3月27日	東京都 東京都 東京都 東京都	・東京国際フォーラム ・ステーションコンファレンス東京 ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
	・蘇生教育小委員会 :	:	2014年5月23日 2014年8月30日 2015年1月31日	東京都 東京都 福岡県	・帝京大学板橋キャンパス ・帝京大学板橋キャンパス※ ・産業医科大学※ ※拡大蘇生教育小委員会
	・蘇生科学小委員会 :	:	2014年9月27日	宮城県	・仙台市民会館
	・AED検討委員会 :	:	2014年9月13日 2014年12月20日 2015年3月14日	東京都 東京都 東京都	・(一社)日本循環器学会事務局 ・(一社)日本循環器学会事務局 ・(一社)日本循環器学会事務局
	・循環器救急医療制度小委員会 :	:	(開催無し)		
(25)	禁煙推進委員会	:	2014年6月20日 2014年10月24日 2015年1月23日 2015年3月27日	東京都 東京都 東京都 東京都	・東京国際フォーラム ・ステーションコンファレンス東京 ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
(26)	国内交流委員会	:	(開催無し)		
(27)	用語委員会 :	:	2014年6月20日 2015年3月27日	東京都 東京都	・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム
(28)	事務局あり方検討委員会	:	2014年6月20日 2014年10月24日 2015年1月23日 2015年3月27日	東京都 東京都 東京都 東京都	・東京国際フォーラム ・ステーションコンファレンス東京 ・東京国際フォーラム ・東京国際フォーラム

## ●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

### ①研究会・学術講演会の開催事業

#### 1. 日本循環器学会地方学術集会

第111回北海道地方会

会期：2014年6月28日(土)

会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会長：樋上 哲也(札幌医科大学心臓血管外科学講座)

参加人数：284名

発表演題：34題

第112回北海道地方会

会期：2014年11月22日(土)

会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会長：松居 喜郎(北海道大学大学院医学研究科循環器・呼吸器外科学)

参加人数：270名

発表演題：43題

第158回東北地方会

会期：2014年6月7日(土)

会場：岩手医科大学附属循環器医療センター(盛岡市)

会長：中村 元行(岩手医科大学心臓血管・腎・内分泌内科)

参加人数：276名

発表演題：87題

第159回東北地方会

会期：2014年12月6日(土)

会場：仙台国際センター(仙台市)

会長：竹石 恭知(福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座)

参加人数：330名

発表演題：81題

第232回関東甲信越地方会

会期：2014年6月21日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：井上 晃男(獨協医科大学心臓・血管内科)

参加人数：907名

発表演題：114題

第233回関東甲信越地方会

会期：2014年9月6日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：中村 文隆(帝京大学ちば総合医療センター 第三内科)

参加人数：869名

発表演題：98題

第234回関東甲信越地方会

会期：2014年12月6日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：大島 茂(群馬県立心臓血管センター)

参加人数：929名

発表演題：107題

第235回関東甲信越地方会

会期：2015年2月7日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：小林 義典(東海大学医学部附属八王子病院 循環器内科)

参加人数：938名

発表演題：112題

第143回東海地方会

会期：2014年7月5日(土)

会場：じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)(岐阜市)

会長：竹村 博文(岐阜大学医学部高度先進外科(第1外科))

参加人数：529名

発表演題：135題

第128回北陸地方会

会期：2014年7月6日(日)

会場：金沢大学医薬保健学域・医学類(金沢市)

会長：井野 秀一(金沢大学附属病院・先端医療開発センター)

参加人数：237名

発表演題：55題

第144回東海・第129回北陸合同地方会

会期：2014年10月25日(土)・26日(日)

会場：ウインクあいち(愛知県産業労働センター)(名古屋)

会長：伊藤 正明(三重大学循環器・腎臓内科学)

参加人数：794名

発表演題：210題

第117回近畿地方会

会期：2014年7月12日(土)

会場：コングレコンベンションセンター(大阪市)

会長：佐賀 俊彦(近畿大学医学部心臓血管外科)

参加人数：1313名

発表演題：254題

第118回近畿地方会

会期：2014年11月29日(土)

会場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)

会長：上田 真喜子(大阪市立大学大学院医学研究科 病理病態学)

参加人数：1206名

発表演題：265題

#### 第105回中国地方会

会期：2014年12月6日(土)

会場：ANAクラウンプラザホテル宇部(宇部市)

会長：矢野 雅文(山口大学大学院医学系研究科器  
官病態内科学)

参加人数：442名

発表演題：171題

#### 第105回四国地方会

会期：2014年12月6日(土)

会場：高松商工会議所(高松市)

会長：上枝 正幸(三豊総合病院・循環器科)

参加人数：385名

発表演題：101題

#### 第104回中国・四国合同地方会

会期 2014年7月18日(金), 19日(土)

会場 岡山コンベンションセンター(岡山市)

会長 伊藤 浩(岡山大学大学院医歯薬学総合研究  
科 循環器内科学)

参加人数：823名

発表演題：194題

#### 第116回九州地方会

会期：2014年6月28日(土)

会場：電気ビル 共創館 / みらいホール(福岡市)

会長：冷牟田 浩司 (独立行政法人 国立病院機構  
九州医療センター 循環器内  
科)

参加人数：769名

発表演題：131題

#### 第117回九州地方会

会期：2014年12月6日(土)

会場：沖縄コンベンションセンター(宜野湾市)

会長：國吉 幸男(琉球大学大学院医学研究科 胸  
部心臓血管外科学講座)

参加人数：424名

発表演題：159題

### ②学会学術誌、その他出版物の刊行事業

#### 1. Circulation Journal刊行

- (1) Circ. J. Vol.78 2014年は12冊3,056頁、平均発行部数約17,405部、原著投稿論文を含む256件2,989頁(98%)、その他67頁(2%)を掲載した。
- (2) 2014年の投稿論文は、受付1,436件(内有効論文1401件)、内2015年5月22日現在までの採用は262件、不採用925件、採択率は22%であった。査読にはEditorial Boardを含め814名(12号掲載)がその任務にあたった。
- (3) 2014年の投稿論文は、2015年5月22日現在まで

の受付574件(内有効論文554件)であった。

#### 2. 循環器学用語の検討

循環器学用語の改定について、会員及び関係学会からの意見を踏まえ検討した。また、WHO・厚生労働省から依頼を受けているICD-11作成作業について委員派遣を行った。

#### 3. 会告刊行

会告2014 No.1～No.6を発行した。

#### 4. 地方会抄録

地方会抄録オンライン検索システム「症例くん」を運営した。

#### 5. 学会ニューズメールの配信

会員向けに学会からのお知らせなどを掲載したニューズメール「JCS News Letter」を配信した。

### ③学術研究助成事業

#### 1. 循環器疾患診療実態調査(JROAD)

全国の循環器科・心臓血管外科を標榜する2,537施設に調査依頼を行い、Web登録システムを用いて調査を行い、1,535施設から回答を得た。調査対象期間は2013年1月～12月の1年間で、循環器研修施設および循環器関連施設から100%の回答を得ることができた。

#### 2. DPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する事業(JROAD-DPC)

JROAD参加施設の中から1,116施設を抽出し、DPC情報提供に関する参加意向をつのり、DPC情報の提供に同意した610施設よりデータ収集を行った。

#### 3. 学術研究班

- (1) 循環器病薬の血中濃度モニタリングに関するガイドライン  
(日本循環器学会・日本TDM学会との2学会合同作成)  
(班長：青沼 和隆, 志賀 剛)
- (2) 心臓移植に関する提言(班長：磯部 光章)
- (3) 心臓サルコイドーシスの診断ガイドライン  
(班長：寺崎 文生)
- (4) 学校心臓検診のガイドライン  
(日本循環器学会・日本小児循環器学会との2学会合同作成)  
(班長：住友 直方)
- (5) 末梢閉塞性動脈疾患の治療ガイドライン(改訂版)  
(班長：宮田 哲郎)

#### 4. 日本循環器学会ホームページのガイドラインページの改修とガイドライン冊子の変更

ガイドラインをより活用しやすくするため、9カテゴリーに分類し、検索しやすくした。

ガイドライン冊子は、2014年度からはガイドライン毎に分冊で製作することとし、冊子タイトルを『循環器病ガイドシリーズ』とし、カテゴリー分類も加えて一新した。

#### 5. ガイドライン作成

2012-2013年度活動の「災害時循環器疾患の予防・管理に関するガイドライン」(日本循環器学会, 日本高血圧学会, 日本心臓病学会合同ガイドライン)(下川宏明班長)と「先天性心疾患, 心臓大血管の構造的疾患 (structural heart disease) に対するカテーテル治療のガイドライン」(中西敏雄班長)の2件のガイドラインおよび2011-2013年度活動の「慢性肺動脈血栓塞栓症に対するballoon pulmonary angioplastyの適応と実施法に関するステートメント」を冊子体とホームページ上で公開した。

2012-2013年度活動の「非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン(2014年改訂版)」(許俊英班長)と「脳血管障害, 慢性腎臓病, 末梢血管障害を合併した心疾患の管理に関するガイドライン(2014年改訂版)」(伊藤貞嘉班長)の2件の改訂版をホームページで公開した。

#### 6. ガイドラインダイジェスト版の英訳化

既存のガイドラインのうち、次の4件を英訳化し、CJ誌に公表、ホームページ上で公開した。

- (1) 心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン(2012年改訂版)  
(班長: 野原隆司先生)
- (2) 心房細動治療(薬物)ガイドライン(2013年改訂版)  
(班長: 井上 博)
- (3) 川崎病心臓血管後遺症の診断と治療に関するガイドライン(2013年改訂版)  
(班長: 小川 俊一)
- (4) 冠攣縮性狭心症の診断と治療に関するガイドライン(2013年改訂版)  
(班長: 小川 久雄)

#### 7. Translational Research振興事業

臨床応用・実用化にある最先端の基礎的研究やTranslational researchについて、我が国の先進医学研究に寄与することを目的に、以下2件の研究支援助成を行った。2012年度に採択した2件および2013年度に採択した2件についても研究支援助成を行った。

- (1) 古川 哲史(東京医科歯科大学難治疾患研究所生体情報薬理学)  
心房細動の発症・重症化予測アルゴリズムの

構築と個別化医療

- (2) 坂田 泰史(大阪大学大学院循環器内科学)  
心筋病理細胞核クロマチンスコアを用いた重症心不全可塑性臨床診断指標の開発と実用化

#### 8. 大規模臨床試験の後援

以下の医師主導型臨床試験を支援した。

- (1) 周産期心筋症(産褥心筋症)の発症に関する登録研究  
(PREACHER: 主査 池田 智明)
- (2) 心筋梗塞患者に対するエポエチンベータ投与による心機能改善効果に関する研究-II  
(EPO-AMI-II: 主査 小室 一成)
- (3) 急性心筋梗塞に対する治療の現状とその効果の実態調査  
(J-MINUET: 主査 石原 正治)

#### 9. 心原性ショックに関するレジストリ

蘇生科学小委員会が主導して行う心原性ショックに関するレジストリは、2014年6月に新規登録を締切り、レジストリ参加施設から解析班を組成し解析作業を行った。

#### 10. 留学支援助成

学術集会の発展・医学研究の振興を願って、海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に以下1件の留学支援助成を行った。

多田 祐子 先生 (東京大学循環器内科)  
分子イメージングを用いた、心筋症・心筋炎の病態解明および診断法の開発

#### 11. 国内交流事業

- (1) 日本呼吸器学会における、日本循環器学会とのジョイントシンポジウム開催申請を受諾した。
- (2) 日本機械学会バイオエンジニアリング部門との連携の申し入れがあり、今後検討していく。

#### ④国際交流事業

##### 1. 国際交流事業

- (1) 海外学会(ESC・AHA)へブース出展を行った。
- (2) 3名(Harvey Feigenbaum (USA), Giuseppe Mancina (Italy), Young-Bae Park (Korea))の新規国際名誉会員の選定を行った。

#### ●循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

##### ①循環器専門医事業

##### 1. 循環器専門医事業

- (1) 循環器専門医認定のための第25回循環器専門医試験を2014年8月24日(日)東京国際フォーラム(東京), 梅田スカイビル(大阪)の2会場で実施し

た。認定者は415名(2015年4月1日認定)。

- (2) 2015年4月1日に循環器専門医資格更新予定の循環器専門医は3,134名。
- (3) 循環器専門医・専門医を目指す会員の臨床研修のための研修施設・研修関連施設の指定および指定更新審査を行った。新たに研修23施設、研修関連34施設を指定し、更新は研修378施設、研修関連118施設を指定した。
- (4) 専門医編集委員会から、『循環器専門医』Vol.22 No.2, Vol.23 No.1を出版した。Vol.22No.2は特集「第78回日本循環器学会学術集会」、Vol.23 No.1は特集I「基礎科学の進歩」特集II「第78回日本循環器学会学術集会」

※(2)の更新者に関しては、2015年4月開催の第79回学術集会在更新対象単位となっているため一部審査中となり2015年5月21日現在を記載していますことをご了承ください。

## ②循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

### 1. 第10回循環器専門医を志す研修医のための卒業セミナーの企画・開催

2014年7月13日(日)千里ライフサイエンスセンターにて、主に研修医を対象に、循環器学の面白さをレクチャー、ディベート、グループ討論などを通じて伝えるセミナーを開催した。

### 2. 教育研修用DVDの製作・販売

学会員の知識、技能の向上をはかることにより、国民の健康に寄与することを目的として「第42回循環器教育セッションDVD-ROM」の製作・販売を行った。

### 3. 教育研修用e-ラーニングシステムの構築

学会員の知識、技能の向上をはかることにより、国民の健康に寄与することを目的として教育研修e-ラーニングコンテンツの拡充を行った。

### 4. 統計に関する研修合宿の企画

新たな教育研修企画として、中堅の医師を対象とした統計に関する合宿形式の研修を実施する。

### 5. 心肺蘇生法普及活動

次の各講習会を全国で開催した。

- (1) AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース
- (2) AHA ACLSプロバイダーコース
- (3) AHA ACLS-EPプロバイダーコース
- (4) AHAハートセイバーAEDコース

受講者募集活性化のため、BLS受講対象者を原則として医療に従事している方、医学教育に係わっている方、医歯薬学生、看護学生などに拡大した。また、インストラクター養成のため次の各講習会を開催し

た。

- (1) AHA コアインストラクターコース
- (2) AHA BLSインストラクターコース
- (3) AHA ACLSインストラクターコース
- (4) AHAハートセイバーインストラクターコース

## 6. コメディカルセミナーの開催

循環器系コメディカルスタッフへの教育・啓発を目的として、第7回・第8回のコメディカルセミナーを開催した。

- (1) 第7回コメディカルセミナー  
日時：2014年8月10日(日) 10:00-17:30  
会場：大阪国際会議場(大阪市)  
テーマ：「増加する心臓弁膜症」
- (2) 第8回コメディカルセミナー  
日時：2014年8月17日(日) 10:00-17:30  
会場：砂防会館(千代田区)  
テーマ：「増加する心臓弁膜症」

## 7. 男女共同参画に関する事業

- (1) 第5回男女共同参画委員会セミナー「医師のワークライフバランスをめざして—共に歩むキャリア支援—」を2014年6月28日に第116回九州地方会(電気ビル 共創館)で開催した。
- (2) 第6回男女共同参画委員会セミナー「循環器医のワークライフバランスの現状と将来—より豊かな男女共同参画実践をめざして—」を2014年10月26日に第144回東海・第129回北陸合同地方会(ウインクあいち)で開催した。
- (3) 学術集会一般演題における女性座長について、第79回では12.4%となった。

## ●循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

### ①心臓移植等にかかる事業

#### 1. 心臓移植等に関する事業

- (1) 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出した。
- (2) 心臓移植の適応について、新規申請、再申請の検討を行った。
- (3) 移植関連学会協議会より臓器移植の適応評価の仕組みの見直しについて提案があり、実施施設小委員会、心臓移植関連学会協議会と協議しながら心臓移植において自施設内で適応判定ができる施設について基準を制定した。
- (4) 上記基準を満たしているか審査する機関として、自施設内適応審査委員会を立ち上げた。
- (5) 心臓移植について一般市民に理解を深めてもらうため2014年6月21日に市民公開講座を開催した。
- (6) 日本の心臓移植の状況を世界に発信していくため、Circulation Journalにマニュアルレポートを投稿した。

## ②社会への広報・啓発事業

### 1. プレスセミナーの開催

一般市民への啓発を目的として、プレスを対象としたセミナーを昨年9月より月次で開催した。2014年度は以下のテーマで7回開催した。

- 第一回 超高齢化で激増する循環器疾患
- 第二回 心不全から命を守る
- 第三回 心臓リハビリテーション
- 第四回 不整脈ってどんな病気?
- 第五回 血圧日内変動を考慮した24時間にわたる降圧療法の重要性
- 第六回 再生医療の現状と今後の展望
- 第七回 慢性血栓塞栓性肺高血圧症の最新治療

第二回『心不全から命を守る』第三回『心臓リハビリテーション』が地方紙に掲載された。

### 2. 禁煙ガイドブックの販売

禁煙指導のための教材として使用する「禁煙ガイド Passport to Stop Smoking」の販売をおこなった。

### 3. 心肺蘇生法に関する事業

ファミリー&フレンズコース(市民向け講習会)を計16回開催した。

### 4. 学会ホームページの運営

学会員・一般市民に役立つ情報を学会ホームページに掲載した。

### 5. 診療報酬に関する調査

循環器分野における診療報酬の実態を調査するため、主にDPCの実態及び診療報酬改定後の影響について調査を行い、必要な要望等を関係各所に行った。

### 6. 医療安全に関する事業

委員会内規内の委員会業務内容に沿って、医師推薦依頼に対応した。

### 7. 医療倫理に関する事業

不正論文などの問題について対応を検討した。

## ●その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 1. 準会員制度の開始

2014年度から新たな会員区分として「準会員」制度が開始された。入会状況は「I会員の異動状況」の通りである。

Circulation Journal Vol. 78刊行状況(編集委員会)

	論文数	頁数	その他頁数	頁数計
No. 1	30	265	1	266
2	30	268	0	268
3	30	246	0	246
4	30	233	1	234
5	30	252	0	252
6	30	245	1	246
7	31	262	0	262
8	30	322	0	322
9	27	237	1	238
10	25	231	1	232
11	25	237	1	238
12	23	191	61	252
計	341	2989	67	3056

『第79回学術集会抄録CD (Vol.79 Supplement I)』刊行状況(学術集会)

	一般演題採択数	抄録掲載数
計	2,355	2,989

『循環器専門医』刊行状況(専門医制度委員会)

	本文頁数	専門医News頁数	頁数計
Vol. 22 No.2	355	17	372
Vol. 23 No.1	157	17	174
計	512	34	546

『循環器病ガイドシリーズ 2014年版』刊行状況 (ガイドライン委員会)

	オリジナル版頁数	ダイジェスト版頁数	頁数計
災害時循環器疾患の予防・管理に関するガイドライン	102	29	131
先天性心疾患、心臓大血管の構造的疾患 (Structural heart disease) に対するカテーテル治療のガイドライン	118	65	183
慢性肺動脈血拴塞症に対する balloon pulmonary angioplasty の適応と実施法に関するステートメント	—	19	19
計	220	113	333

## 附属明細書

2015年度事業報告においては、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

(附属明細書記載事項ではないが、事業報告の内容を補足する事項として、以下付記する。)

2014年度事業報告に「年次学術集会」の報告が無い理由

本学会では例年3月頃に学術集会を開催しているが、第79回日本循環器学会学術集会(JCS2015)は2015年4月24日(金)～26日(日)に開催した。本会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までの期間である(定款第41条)ため、第79回学術集会は2015年度の事業であり、「2014年度事業報告」における報告対象には含まれない。

以上